

# 令和5年 第13回全員協議会会議録

令和5年11月24日 議員控室

## ○事 件

町長報告事項

(1) 時間外勤務手当の不正受給について（総合病院）

## ○出席議員（13名）

議長	千 葉 隆 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	赤 井 睦 美 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	関 口 正 博 君		宮 本 雅 晴 君
	倉 地 清 子 君		三 澤 公 雄 君
	牧 野 仁 君		安 藤 辰 行 君
	能登谷 正 人 君		

## ○欠席議員（1名）

斎 藤 實 君

## ○出席説明員（8名）

副町長	成 田 耕 治 君	総務課長	竹 内 友 身 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	総合病院庶務課長	長谷川 信 義 君
総合病院医事課長	加 藤 貴 久 君	総合病院医療連携課長	佐々木 裕 一 君
総務課長補佐	相 木 英 典 君	人事厚生係長	山 本 貴 志 君

## ○出席事務局職員

事務局長	三 澤 聡 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	菊 地 恵梨花 君		

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） 皆さんおはようございます。

斎藤議員さんの遅刻する旨、報告がございますので、時間になりましたので全員協議会を開催いたします。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは早速町長報告ということで、(1) 時間外勤務手当の不正受給について報告をお願いいたします。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） おはようございます。

冒頭、本日、岩村町長については、以前から予定されておりました出張のため不在でございますので、全員協議会及びサーモン調査特別委員会を欠席させていただきますことを報告させていただきます。

つきまして 10 月に報告しました職員の横領事件に引き続いて、病院職員による時間外手当不正受給の不祥事案が判明しました。このことについて担当のほうから報告をさせていただきますが、このたびは大変申し訳なく存じます。よろしくをお願いいたします。

それでは担当のほうから報告させていただきます。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） それでは時間外勤務手当不正受給について説明いたします。資料別紙をご覧ください。本件は当院感染対策室に所属する職員による時間外勤務手当の不正受給が判明したものであります。

はじめに判明の経緯について説明いたします。これまで当該職員については、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で勤務にあたっていたものであり、相当数の時間外勤務を行っていたものでございますが、その後、感染症法上の分類が5類へ移行し、入院患者が皆無の状態となり、当該感染症の扱いが緩和された後も時間外勤務が多く存在することから疑念が持たれ、調査を開始することに至っております。

3 調査結果ですが、(1) 所属長からの勤務命令及び管理監督責任者印は時間外勤務を行う際、必ず所属長からの命令及び確認並びに監督責任者の印が必要となりますが、当該職員は上司等の了解を得ずに勝手に押印していたことが判明しております。

(2) 院内監視カメラによる確認では、出退勤時間を確認したところ、出勤簿に記載の時間外勤務日時に疑義が確認されたものであり、具体的には退勤しているにもかかわらず時間外勤務の実態が記載されているといった状況であります。

(3) 関係部署からの聞き取りでは、出勤簿に記載されている時間外勤務内容を基に関係部署に対し聞き取り調査を行いました。勤務実態は存在しないことが判明しております。

また（４）電子カルテ及び情報系パソコンの操作履歴、ログの確認ですが、時間外勤務命令時間と電子カルテ及び情報系パソコンの操作履歴を比較した結果、操作履歴が存在しないなど、明らかに時間外勤務の信ぴょう性が疑われる日が多数存在することが判明したものであります。

以上から勤務実態がないにもかかわらず、虚偽の出勤簿を作成し、不正に手当を受給していたことが強く疑われる結果となりました。

次に４本人からの事情聴取ですが、（１）所属長からの命令印等は自ら押印していたものであることを認めております。また（２）時間外勤務の実態につきましては、本案件については複数回、事情聴取を行っております。当初の聞き取りでは令和５年度になってから相当数の時間外勤務が存在している旨の主張でしたが、その後こちら側の調査結果を提示した２回目の聴取では当該職員の主張が一転し、令和２年度以前の新型コロナウイルス感染症の蔓延時において相当数の時間外勤務を行っており、精算できていない過年度分の時間外勤務分として令和５年度に申請したという主張でした。

５主張結果を受けての見解ですが、（１）所属長等の押印を自ら行うことは極めて不適切であり。（２）管理監督者が介入しない不適切な時間外勤務手当の請求であったもので、自身の意のままに請求できるものであったこと。（３）監視カメラ、パソコン操作履歴、関係部署からの聴取により勤務実態がないのは明らかであり、（４）実態として累積時間外勤務実績が存在したとしても、その勤務状況を証明するものは存在しておらず、（５）令和４年度時間外勤務手当は全額支給済みであり、以上から管理監督者が関与しない、自らの勝手な判断による時間外勤務手当の不正受給と判断するものであり、懲戒処分等審査委員会へ諮問するものであります。一方で病院組織としての監督不備は否めないものと強く受け止めております。

６再発防止策については、当部署における管理体制の厳格化を図り、時間外勤務をはじめとする勤務全体の適切な労務管理に努めてまいります。また今年度、勤怠管理システムの導入を現在進めており、全職員の勤務状況をシステム管理することにより、適切な労務管理体制の構築を図ってまいります。

説明は以上でございますが、このたび発生した問題については、決してあってはならないものであり、病院組織としては管理監督体制の問題が露呈したものであります。今回発生した事態を厳粛に受け止め、二度とこのような事態が発生しないよう、再発防止に努めてまいります。

町民の皆様の信頼を大きく損なう事態となりましたことを深くお詫び申し上げます。このたびは大変申し訳ありませんでした。

○議長（千葉 隆君） それでは今、報告を受けたことにつきまして、議員の皆さんから質問等を受けていきたいと思いますが、何かありますか。

○２番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○２番（佐藤智子君） これは１名の人の行ったことなのかってこととですね、今現在この方はどうしているのかということと、ちょっとまとめて言っちゃいますが、不正受給分は返還されたのかということをお教えてください。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） まず職員1名かどうかについてですが、当該職員1名でございます。それと今現在もこの職員については懲戒処分等審査委員会の結果が示されていませんので、同様の職場に勤務をしているということと、これも審査委員会の判断になりますが、時間外相当分、これもあります、その分の返還命令等も含めて処分となると思いますので、そちらについてはまだどうなるかわからないという状況でございますのでお願いいたします。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 現在も勤務中ということですが、本人が認めたんですか。反省とかは示してるんですか。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 本人も反省はしていると思います。先ほどご説明いたしましたが、所属長等の押印については認めているのは事実でございます。ただ先ほどもお話をしたとおり、時間外の存在については過去の分やったものだという主張はしておりますが、調査結果からのこれは明らかにないであろうという判断をしております。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 前回のということもありますので、十分やったことを認めて反省していただきたいとその職員には思いますが、誤った真似をしないようにという目も光らせなきゃならないのかなってちょっと余計な話ですが、その辺は何か考えていますか。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） これといった誤ったことをしないようにというところまでは当院としても対応はできていないところではございます。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） いくつかあるけれども、まずは新しいところで佐藤さんの質問の部分で心配されていたこと、総合病院だし精神科もあるんだから、そういった心理的なストレス不安を取り除くケアなんかしておいたほうが、そういった専門職員もいるわけだから、そういった負担を取ることにはされたほうがいいんじゃないかと思いますが、どうなのでしょう。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 今日持ち帰りまして考えさせていただきたいと思います。

○8番（三澤公雄君） もう一点。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 一人の職員がということですが、この勤務命令印及び監督責任者確認印というものが、こういうふうに使われたというのは、たとえば慢性的にそういうものがあって、ほか

の職員もやっていたとか、過去に振り返ってみたときにやられていたってことの調査はしなくてもいいんでしょうか。誰でもできる状況だったんじゃない。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） まず印鑑ですけれども、まず所属長が医師になりますが、この部署については。医師の印鑑というのは確かに院内、外来や診断書の問題もありますので、看護部門に置いてあるのは事実です。それを今回勝手に自分の判断で押ししてしまったということでもありますので、管理を徹底しなければならないということと、それとまず時間外をした際には必ず所属長がいない場合や管理監督者がいない場合は夜警員に必ず印鑑を押しもらって、それによって必ず勤務に病院内に存在していたという事実がありますので、それは徹底はしているんですけども、この職員に関してはその部分も所属長の印鑑を押ししていた。事務方としてもそこで疑ったらキリはありませんが、そこでもう少し早く疑うべきだったのかなと。当然、書面的には所属長なりの印鑑がすべて押されているので、適切にこれはやったのではないかと。さらにコロナの状況もありますので、判明した経緯としては先ほどご説明したとおり、所属している中でも相当数あったということで、これはちょっとおかしいだろうということで動いた次第ですので、よろしく願いいたします。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） この方の言い訳を見ていると、想像するとだよ、すごく想像するとだよ、たまたまこの方が見つかったただけであって、慢性的にサービス残業なんかをどこかの場面で取り返そうっていうような、職場全体でそういった、やってもいいような空気があったから行われていて、たまたまこの方が目立ったことで調査が入ったのでわかったということなんじゃないかという想像もできなくはないんじゃないかと思うんですけども、その可能性はないかな。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） ご指摘のとおり、確かにそれが、もしかしたら絶対にないとは言い切れないのかなってところはご指摘のとおりあるかと思いますが、命令を押す人、それと確実にその職場にいたということで、帰りに監督する職員がいなかったら夜景印が押すというルールは徹底しておりますので、今回のように印鑑を勝手に押したということであればですね、それがほかにもいないかということは、今ないというふうには感じていますが、それは徹底をしていきたいと思っておりますので、お願いいたします。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） たまたまこの人は調査をした結果、防犯カメラやパソコンのログだとかを見て言い逃れができない状況だったから認めたと。自分で押したと。でも調査対象になっていない、全部を調べたわけではないんですよ。この方を調べただけなんですよ。だから職場環境にそういったルーズな印鑑の取り扱いがあるから、けっこう慢性的にやられていたという風土があったとしたら、この方は運が悪かったということだし、そういった調査をしないで、この方が特別悪いといって罰を加えるというのはちょっと違うんじゃないかな。組織の反省をするというなら、可能性と

して過去の分まで調査はできないであるなら、そういった管理が行き届かなかったので、潜在的にそういうことをやられていた方がいるかもしれないって反省に基づいた処罰にしないと、この方だけをスケープゴートするようなやり方は相応しくないと思いますけど。抗うだけの根拠。全職員の過去数年間調べた結果、この方しかいなかったということが証明されない限り、組織としてある程度自分たちの不備もあったということを前提に処罰を考えなきゃ公平性に欠けるんじゃないかなと思うんだよね。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） この案件に関しては今、三澤議員から言われましたように、事務方としても不備な事案が多くありました。確かに印鑑の管理やそういうのを含めて今回重大な事案だと思っておりますが、今回のこの職員に関しては、病院の中で一人個室を与えられた職員であって、外部からは目が届かない職員の一人であったということと、その管理監督責任者が医者であったというケースに関してはこの職員だけなんです。病院職場の中で。

一般の職場については当然、時間外をするにしても係長がいたり課長がいたり常に管理監督者が何人もいるということで、いろんな時間外の申請をするにあたって、いろんな精査をできるし、必ず帰るときには当直室に行って私は時間外をして帰りますって署名を必ずしているということが前提となれば、確かに全ての職員が調査していないので、絶対になかったということは言い切れないかもしれないんですが、今回の職員について、本当に特異性の職場だったということで、今回に関しては大勢のいる職場に戻して、すべてその師長だとかが管理できる体制にしています。

それで必ず時間外については、帰るときには当直のところに行って、私個の時間まで仕事しましたって申請をするように、手続きするように指導しているということも含めて、今回は本当に特異的な案件だったということをお含みいただければと思います。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） わかりました。この方が本当に特殊な環境だったのでこういうことになったという説明があって理解しようと思います。

○7番（倉地清子君） いいですか。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○7番（倉地清子君） この管理システムというか今年度導入するというふうになってるから、徹底できるのかなと思います、これは職員全員という考え方でいいんですよ。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 全職員を対象にしております。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○9番（牧野 仁君） はい。

○議長（千葉 隆君） 牧野さん。

○9番（牧野 仁君） 今、倉地さんの意見を聞いて全員職員ということで、総合病院は大手 400人くらいの職員がいるということで管理するほうも大変だと思います。

私も何回か議会でもコンプライアンスのことを聞いておりましたが、努力を惜しまないで今日までやってきた結果、また更にこういう不祥事も起きるということで、コンプライアンス委員会ってよく言われるんですが、組織として400人いるとなったらいっぺんにはできないと思いますが、どういうかたちでコンプライアンス対応をやっているのかも聞きたい。

もう二点目は今の職員の、多分ベテランの職員だと思いますが、これはやはり勤務体制も20年以上経っている方だと思いますが、わかりませんが。金額的にはどれくらいの不正をしたのか。大雑把、細かい数字が出たら教えていただきたい。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） コンプライアンスなんですけど、近年、過去には研修会等ですね、やっていたようなんですけど、近年は開催はされていないと思います。何もやっていないと言われたらそのとおりだと思いますが、そういった状況です。

それと時間外の金額の問題かと思いますが、調査をしました今年度ですね、4月から7月までですが、約56万円ほどですのでよろしく願いいたします。

○9番（牧野 仁君） はい。

○議長（千葉 隆君） 牧野さん。

○9番（牧野 仁君） 今ちょっと聞いてて、がっかりというか近年コンプライアンス委員会をやっていないということで、是非ですね、ここはやっぱり毎年、上半期下半期でもいいんですが、やっぱりやってほしいなって。今日、事務長来ていませんが、惜しまないで努力して3月定例会で言ってくれたので、接遇対策もそうですが、全ての部分、企業風習もそうですが、総合病院という信頼回復、一番大事なことなので、先日も医者对患者に対しての不祥事もありましたけど、ああいう対応の仕方は結構広がります。議員の方々は初めて聞いたかもしれませんが、私に直接話を、僕も初めて聞いたんですが、後から知られるのは一番困る話で、議員として。やはりそういう不祥事は気を付けていくには、こういうコンプライアンス委員会は組織的にやっぱり役員の皆さんに早急に立ち上げていただいてやってほしいなと思います。以上です。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 今ご指摘いただいたコンプライアンスの関係でございますが、是非取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 本当に少数の方の間違った行為が大多数の方までに影響を及びして、ほかにもいるんじゃないかってそんなふうな勘ぐりまでも持たれると思いますが、本当にコロナで、今インフルでみんな忙しい中、本当に頑張ってると思いますので、悪いことは悪いでちゃんとやっていただukeけれども、頑張っている職員がこんなにたくさんいるんだということは町民にしっかりと訴えてほしいなと思います。よろしく願いいたします。答弁はいいです。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 前回の不祥事、今回は部署が違うけれども、たとえば副町長と総務課長がいるからあえて言わせてもらうけれども、仕事のさせ方というか、やりがいというか、前向きな気持ちで仕事に取り組む環境が上手くできてるんだろうか。仕事に義務的な気持ちだけで向かって行って、そのストレスからそういった緩い方向に、不正に逃げてしまうとか、なんか役場全体、町長も3期目ということもあるし、どこか自分の仕事にやりがいが見つけられないみたいな空気があるとしたら、これはまだまだ続くかもしれないと思うので、そういった部分での注意喚起もちょっとやってもらえたらなど。本当に皆さんが頭を下げるのは本当に見たくはないので、上手く言えないけれども、本当に自分たちの仕事に誇りを持って進めるような環境づくりもあわせて考えてもらえたらなど。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） 今の質問に対してですけれども、確かに大変仕事も煩雑になりながら、職員もなかなか確保できない中で、大変厳しい職場環境であるというのは把握はしています。先日も職員のストレスの関係やそういうこともありましてですね、講演会、講師を呼んで火曜日に講演会もしています。それも役場と病院それぞれで2時間ほどの講師を招いて対応しています。

確かに今、ストレスを感じたり、心の不安を持ったりという職員が相当数います。長期の休みを取っている職員もいますし、勤務をしながらでも不安を抱えている職員も大勢いるということ把握した中で今回対応させてもらいました。仕事にやりがいだとかそういうのは個人の差もあると思いますが、最近の若い人といったらあれですが、入ったばかりの職員に関しては、せっかく仕事が慣れてきた中ですぐ辞めてしまう環境があるということは、うちの役場としてのいろんなあり方も含めて、その個人に対しては八雲町に魅力のある町だというのは把握をしながら、ずっと八雲町に留めて仕事するようなどころではなくても別なところに移ってしまうこともあると承知しているので、できるだけいろんなやりがいがあるように、仕事の厳しさは当然、職場、個々の中であると思いますが、できる限り八雲町これから新幹線の関係だとかいろいろと発展する要素は山ほどあるので、そういうことも含めて若い職員にも伝えられるように環境を整えていきたいなど。

今日は町長がいないので、私がこのようなかたちで代弁しますが、そういう状況に陥っているというのは十分把握しているところであります。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○5番（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口さん。

○5番（関口正博君） すみません、先ほどの副町長の話の中で、個室を与えられて直属の上司が医師というのは、これものすごく限られちゃうんじゃないですか。立場的にそういう方であることの、ちょっと想像したくないから、そういう役職って限られますよね。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） 身分としては看護師です。看護師の中でその感染を専門に担当している感染対策認定看護師なんですけど、それは普通の看護師のほかに講習を半年間以上受けた中で任命を受けて、八雲町の総合病院としてはその職員がいることによって、年間1千万くらいそういう交付金をいただいたり、今回コロナの関係だとかいろんな感染対策に関する専門のキャリアを持った職



員なので、八雲町のような大きな病院には必ずいなければならないような、そういう職員ということで、直属の看護部には所属をしていますが、病棟にも関わらないという単独の職員、そういうようなところの感染対策の職員に対しては特別な環境を持った職員、特別な職ということをお話していただけたらと。

○5番（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口さん。

○5番（関口正博君） 別にね、それを炙り出そうとかではなくて、そういう立場の方がそういうことをされたのが問題で、先ほど擁護する声もありましたが、この若い職員だとか、そういう方々、また一生懸命なんとか希望を持って働いている方々にとって、そういう立場である人がやったというのは後の影響って大きいですよ。ここでしっかりとちゃんとした対応をしていかないと、この八雲総合病院は人件費率はすごく大きい問題になっていて、だからこそ、ちゃんとした原因究明とこのあとの対策というものをここでちゃんとしないと、若い人離れていきますよ。せっかく来ていただいている方々、事務方も含めて看護師の皆様方も含めて、そこはしっかりと対応を僕はお願ひしたいと思います。甘いことは言うつもりないです。申し訳ないですが、そこをお願いしたいんですがどうですか。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） 今回のこの件に関しては、今、懲戒処分等の審査委員会を先日開催をしています。それでその中で一定の方向性を見出して、相当重い処分を科すと検討しているところでありますので、それも含めて先ほど庶務課長のほうから申しましたように、再発防止策に関しては、十分このようなことがないように徹底してまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 今日、町長出張でいないと言いますが、こういう大事なときにいないというのは問題じゃないかなって思うんですね。口に出せなくても思ってると思うんですけども、昨日お会いしたんですね。それで今日また出張でいらっしゃらないということですが、その出張のほうが一番だからそちらに行かれてるんでしょうけれども、やはり町長ね、出られるときにこういう場を持つとかが必要だと思いますし、こんなに長期に議会が関係しているときに町長がいないというのは逃げてるのかって思っちゃいますよね。あまりコメントできないと思いますが、そんな思いでいます。

○議長（千葉 隆君） 当事者がいないので思いということで。ほかに。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） なければあれなんですけれども、この審査会の結果あったときに議会のほうにも通知というか、その辺は。

○総務課長（竹内友身君） 議長、総務課長。

○議長（千葉 隆君） 総務課長。

○総務課長（竹内友身君） 今までたとえばアワビのときとか、そういったのは報告したと思いますが、それ以外についてはですね、懲戒処分を受けると公表されますので、その段階で、例えば公

表する前でも議員の皆さんお知らせすることとなると思いますので、そういったことで検討しております。

○議長（千葉 隆君） ということで皆さんこの件についてはよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 以上で報告については終わりたいと思います。

じゃあ全員協議会はこれで終わります。そのほか皆さんのほうからありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） じゃあこれで終わらせていただきます。どうもご苦勞様でした。

〔閉会 午前10時36分〕